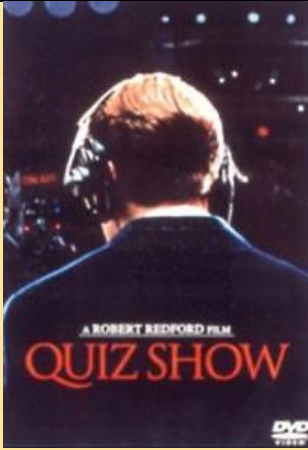


『クイズ・ショー』	原題 <i>Quiz Show</i>	1994 年	執筆：清水 純子
制作国	アメリカ		
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ:監督 ロバート・レッドフォード/ 脚本 ポール・アタナシオ /製作ロバート・レッドフォード、マイケル・ジェイコブス/ 製作総指揮 フレデリック・ゾロ、リチャード・ドレイファス/キャスト;ジョン・タトゥーロ: ハービー・ステンペル/ ロブ・モロー: デイック・グッドウィン /レイフ・ファインズ: チャールズ・ヴァン・ドーレン/ ポール・スコフィールド: マーク・ヴァン・ドーレン(チャールズの父)/ デヴィッド・ペイマー: ダン・エンライト(NBCプロデューサー)/ ハンク・アザリア: アル・フリードマン(NBCプロデューサー)/ クリストファー・マクドナルド: ジャック・バリ(「21」司会者)/ ミラ・ソルヴィノ: サンドラ(デイックの妻)/ マーティン・スコセッシ: 製薬会社社長 /</p>		
画像			
カラー・モノクロ	カラー		
時間	133 分		
ストーリー	<p>1950年代アメリカの「クイズ・ショウ・スキャンダル」として有名な実話の映画化。1956年大手テレビネットワーク NBC が放映するクイズ番組「21」は全米で無敵の人気を誇っていたが、魅力的でないユダヤ系中年男のハービーがクイズ王として居座り、視聴率は伸び悩む。スポンサーは、ハンサムな若手エリート学者チャールズ・ヴァン・ドーレンにすげ替えるために不正工作をする。質問の答えをあらかじめ教えてのやらせを立法管理小委員会の捜査官デイック・グッドウィンは見抜いて法廷に持ち込む。TV局の不正の身を正そうとしたデイックの思惑とは違って、チャールズがすべてを告白してコロンビア大学の教授職を解任になる。</p>		
時代設定	1956年		
場所	アメリカ、テレビの人気クイズ番組「21」		
社会背景	第二次世界大戦の戦勝国としての地位を謳歌するアメリカ、アメリカン・ドリームの時代、アメリカの黄金期、大型家電製品の普及。		
文化的背景	テレビの普及と大衆化、裕福な生活を夢見る大衆、テレビはヒーローを必要とする。		
使用言語	英語(インテリ階級、公共性の高い英語)		
テーマ	視聴率獲得のために手段を択ばないTV局の不正を追及するジャーナリストの勇気ある挑戦、メディアの役割の再考、金銭と公正さを同時に追求するアメリカの精神、ショウとドキュメンタリーの受容の区別。		

みどころ	アメリカ文化の特性が浮き彫りにされている(経済的成功への執着、正直であることを大切にする)、マスコミやジャーナリズムの実態と使命について赤裸々に描く、1950年代アメリカにおけるユダヤ系とジェンティール(gentile ユダヤ人でないキリスト教徒)の社会的地位の落差、所属する業界によって罰則が違う(学者は教職追放、メディア関係は自粛ののち復帰)。
印象深いせりふ	They always follow a Jew with a Gentile. And the Gentile wins more money. What is that, a coincidence? Charlie: I've learned a lot about good and evil. . . they're not always that they appear to be, I was involved deeply involved, in a deception. I have deceived my friends and I had millions of them. In a sense, I was like a child who refuses to admit a fact in the hope that I will go away. . . I finally realized what I should have known before, that the truth is always the best way, indeed it is the only way, to promote and protect faith, the only thing with which a man can live.
授業教材用 メリット	聞きやすく正確な英語(マスコミ、大学、法廷関係の英語)、マスコミとジャーナリズムの使命を考えさせる、アメリカ文化の二面性(金銭欲と正直精神への極端なこだわり)を明示、アメリカにも優遇される階級と人種が存在することを理解させる。
授業教材用 デメリット	アメリカの二元論的価値観が日本人にはわかりにくい(善悪二元論、極端な金銭欲と公正さに対するこだわり、娯楽精神の尊重と相反する実証性への執着)。
映像入手元	ブエナ・ビスタ・ホーム・エンターテイメント(DVD)
原作の有無	リチャード・N・グッドウィン
支持反応	Metacritic 評価(批評家 88、観客 8.7) Rotten Tomatoes 評価(批評家 96、観客 86)
キーワード	テレビ、クイズ、スキャンダル、テレビネットワーク、スポンサー、メディア、マスコミ、ジャーナリズム、法廷、教授、コロンビア大学、委員会、不正、階級、人種。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。